

第2次食育推進計画骨子素案（教育分野）

これまでの取組状況

第1次食育推進計画では、4つの視点のもと食育の推進を図ってきた。教育分野における食育の推進においては、「人から人へつなぐ文化」という視点のもと、重点施策を定め展開してきた。

施策の方向を、「生涯にわたり健康な心身を培う」こと。そのために「食生活や健康について自ら考え、理解し、行動できる子を育む」こと。また、食に関する体験を通して、「感謝の心などの豊かな心を育む」こと。さらに、「農業・いのちの大切さ・文化を学び、郷土意識を育む」こととし、学校における食育の指導体制と指導内容の充実、学校給食を活用した食育の充実と地産地消の推進、体験を通じて食を学ぶ取組の推進、優れた食文化や食習慣の継承を具体的な施策として取り組んだ。

現計画の進捗状況

① 目標を達成あるいは向上した項目	策定時→現状	策定時目標
・食に関する指導の全体計画を作成している学校の割合	37.7%→60.4%	60%以上
・近隣の学校や地域の関係機関との連絡協議会がある割合	15.8%→22.0%	30%以上
・主要な県産農産物の使用割合（重量ベース）	86.7%→87.0%	増加
・学校給食における1週間あたりの米飯給食の回数	3.2回→3.4回	全国トップレベル
・朝食を欠食する県民（小5）の割合	2.9%→2.0%	0%を目指す
・朝食を欠食する県民（中2）の割合	7.0%→5.1%	0%を目指す
・小学生の肥満傾向児の割合	8.7%→7.5%	8.5%
② 策定時の数値を下回った項目	策定時→現状	策定時目標
・いきいきちばノートを授業で活用している小学校の割合	86.4%→81.2%	100%
・県産物の使用割合（食材数ベース）	23.0%→22.0%	全国上位

課題

- 学校における食育の指導体制は整備されつつあり、指導内容も充実してきた。さらに食の専門家である栄養教諭や学校栄養職員の授業への参画を推進するとともに、栄養教諭を中心とし、学校・家庭・地域が連携して地域での食育に取り組む必要がある。
- 学校給食における地場産物の活用・ちば型食生活の基盤となる米飯給食のさらなる促進を図る必要がある。また、地域の優れた食文化や食習慣にふれたり、郷土料理等の導入を図る必要がある。
- 運動や睡眠時間の不足、偏食・朝食欠食・孤食等の食生活の乱れ、過度の痩身や肥満等、児童生徒の生活習慣・食習慣等の改善を図る必要がある。

基本目標：生涯にわたり、心も体も健康な生活を送れる児童生徒の育成

取組方針

- I 学校における食育の指導体制と指導内容の充実を図る。
- II 学校給食を活用した食育の充実と地産地消の推進を図る。
- III 食育を通じた健康状態の改善等を図る。

みんなで取り組む「教育立県ちば」プラン

- (1) 夢・チャレンジプロジェクト
- (2) 元気プロジェクト
- (3) チームスピリットプロジェクト

施策の展開

学校における食育の指導体制と指導内容の充実

1 指導体制と指導内容の充実	(1)食に関する指導の全体計画及び年間指導計画の見直し作成と活用の推進 (2)効果的な学習のための学習資料の活用 (3)体験活動を取り入れた学習による効果的な食育の推進 (4)研究校の指定を通じた効果的な食育の推進 (5)学校から発信する家庭教育支援における食育の推進
2 栄養教諭を中心とした食育の推進	(1)食の専門家である栄養教諭・学校栄養職員と教諭が連携した食育の推進 (2)学校・家庭・地域が連携した食育に関する取組の推進 (3)各地域における栄養教諭を中心とした食育の推進 【新規・重点】
3 各校種における食育の推進	(1)特別支援学校における食育の推進 (2)高等学校における食育の推進 【新規】 (3)保育所・幼稚園における食育の推進

学校給食を活用した食育の充実と地産地消の推進

1 学校給食の充実	(1)学校給食を生きた教材として活用した食育の充実 (2)安全・安心な学校給食用食材確保のための取組と情報提供
2 ちば型食生活の推進	(1)学校給食における地場産物の活用 (2)ちば型食生活の推進の観点からの米飯給食のさらなる促進 (3)関係団体等と連携した地場産物の活用普及啓発の推進
3 郷土の食文化への理解	(1)地域の優れた食文化や食習慣の継承 (2)学校給食での郷土料理等の積極的な導入や行事の活用

食育を通じた健康状態の改善等の推進

1 生活習慣・食習慣の改善等の推進	(1)健康三原則の推進 (2)朝食を欠食する児童生徒の割合の減少 (3)過度の痩身、肥満傾向児の減少 (4)学校歯科保健活動における食育
2 家庭・個別に対する指導の充実	(1)一人ひとりに応じたきめ細やかな健康相談や指導の推進 (2)家庭教育を支援するための資料の活用